

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
介護福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	124 単位	6 単位	
商業実務専門課程	医療事務科	夜・通信	31 単位	3 単位	
	医療秘書科	夜・通信	69 単位	6 単位	
	医療 AI 科	夜・通信	33 単位	6 単位	
	医療保育科	夜・通信	119 単位	9 単位	
	診療情報管理士科	夜・通信	105 単位	9 単位	
	くすりアドバイザー科	夜・通信	59 単位	6 単位	
歯科助手専門課程	歯科アシスタント科	夜・通信	26 単位	3 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を職員室に設置し、広く一般に公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R2.4.1 ~ R6.3.31	法務
非常勤	公認会計士	R2.4.1 ~ R6.3.31	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> <p>原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。</p> <p>公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度4月を目途とする)</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/tokyo-med.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全履修科目の評定(5点法で示されたもの)の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回(期末ごとに)一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/tokyo-med.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/tokyo-med.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		介護福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	112 単位時間/単位	81 単位時間 単位	28 単位時間 単位	15 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
			1 2 4 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		29人	2人	4人	7人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目的に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。

<p><目指すべき人材像></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活歴や価値観が異なる相手の立場に立って共感でき、円滑なコミュニケーション力を持ち合わせた思いやりのある介護福祉士 ・‘生活‘の連続性を捉え、科学的な分析を以て、尊厳のある暮らしと自立を支えることができる介護福祉士 ・多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解し、リーダーシップをとることができる介護福祉士 ・人権擁護の視点、職業倫理を身に付けた介護福祉士
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0 %)	10人 (90.9 %)	1人 (9.1 %)
(主な就職、業界等) 高齢者福祉施設、障害者支援施設、グループホーム、有料老人ホーム等			
(就職指導内容) 面接練習、添削指導、企業説明会実施等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、普通救命講習、専門士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	2 人	8.3 %
(中途退学の主な理由) 目標喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 複数の教員でサポートをする担当教員制をとり、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談（または保護者面談）の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	医療事務科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	31 単位時間/単位	15 単位時間 単位	21 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
			36単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		31人	0人	7人	3人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 医療事務員として、病院・クリニックにおいて即戦力として受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する
学修支援等
（概要） 複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40 人 (100%)	0 人 (0 %)	38 人 (95 %)	2 人 (5 %)
(主な就職、業界等) 大学病院、総合病院、診療所などの医療機関			
(就職指導内容) 面接練習、添削指導、企業説明会実施等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療事務検定、サービス接遇検定、硬筆書写技能検定、普通救命講習			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	2 人	4.7 %
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 複数の教員でサポートをする担当教員制をとり、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談（または保護者面談）の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務関係	商業実務専門課程	医療秘書科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位時間/単位	48 単位時間/単位	43 単位時間/単位	4 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
		95単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	142人	1人	11人	16人	27人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 医療事務員として、病院・クリニックにおいて即戦力として受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。
学修支援等
（概要） 複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
79人 (100%)	0人 (0%)	75人 (94.9%)	4人 (5.1%)

(主な就職、業界等) 大学病院、総合病院、診療所などの医療機関、普通救命講習、専門士
(就職指導内容) 面接練習、添削指導、企業説明会実施等
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療秘書技能検定、秘書技能検定、医療事務検定、サービス接客検定、 硬筆書写技能検定、パソコン検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
163 人	18 人	11.0 %
(中途退学の主な理由) 目標喪失、学業不振、進路変更、人間関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 複数の教員でサポートをする担当教員制をとり、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談(または保護者面談)の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務関係	商業実務専門課程	医療 AI 科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位時間/単位	38 単位時間 単位	32 単位時間 単位	3 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
			73単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	10人	0人	5人	2人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> ・医療事務員として、病院・クリニックにおいて即戦力として受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する ・ITパスポート・情報セキュリティマネジメントの国家資格を保持し、医療現場で生かせる知識を有する。
学修支援等
(概要) 複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 （ %）	-人 （ %）	-人 （ %）	-人 （ %）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2020年4月開設のため実績無し			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
- 人	- 人	- %
（中途退学の主な理由）		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>複数の教員でサポートをする担当教員制をとり、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談（または保護者面談）の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。</p> <p>また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務関係	商業実務専門課程	医療保育科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	93 単位時間/単位	85 単位時間/単位	38 単位時間/単位	12 単位時間/単位	0 単位時間/単位	13 単位時間/単位
		148単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	77人	0人	4人	19人	23人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> ・保育士・幼稚園教諭の国家資格を保持し、保育・医療の現場において即戦力となる知識・技術を有する。 ・社会人として必要なコミュニケーション能力を有し、子ども保護者、同僚などの他者や社会と良好な関係を築く力を有する。
学修支援等
(概要) 複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 （100%）	0人 （0%）	31人 （96.9%）	1人 （3.1%）
（主な就職、業界等） 保育所、幼稚園			
（就職指導内容） 面接練習、添削指導、企業説明会実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士、幼稚園教諭2種、硬筆書写技能検定、普通救命講習、専門士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
93人	9人	9.7%
（中途退学の主な理由） 目標喪失、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 複数の教員でサポートをする担当教員制をとり、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談（または保護者面談）の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	診療情報管理士科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	93 単位時間/単位	45 単位時間 単位	59 単位時間 単位	3 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
			107単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	95人	1人	6人	9人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> ・即戦力の医療事務員として、病院・クリニックにおいて、受付対応・看護補助者・医師事務作業補助者ができる知識を有する。 ・診療情報管理士認定資格を保持し、診療情報管理士としての基本的な知識と、高度なパソコンスキルを有する ・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。
学修支援等
(概要) 複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (0 %)	26人 (100 %)	0人 (0 %)
(主な就職、業界等) 大学病院、総合病院、診療所などの医療機関			
(就職指導内容) 面接練習、添削指導、企業説明会実施等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書技能検定、秘書技能検定、医療事務検定、サービス接客検定、 硬筆書写技能検定、パソコン検定、普通救命講習、専門士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
96 人	8 人	8.3 %
(中途退学の主な理由) 心身耗弱、目標喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 複数の教員でサポートをする担当教員制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談（または保護者面談）の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務関係	商業実務専門課程	くすりアドバイザー科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位時間/単位	50 単位時間 単位	15 単位時間 単位	8 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
		73単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	37人	1人	6人	5人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 登録販売者資格を取得し、ドラッグストア・薬局・薬店等、薬業界において、即戦力としてお客様・患者様対応が出来る知識・技術を有する。
学修支援等
（概要） 複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0 %)	19人 (100 %)	0人 (0 %)

(主な就職、業界等) ドラッグストア
(就職指導内容) 面接練習、添削指導、企業説明会実施等
(主な学修成果(資格・検定等)) パソコン技能検定、サービス接客検定、調剤報酬請求事務技能検定、 普通救命講習、専門士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	3 人	7.9 %
(中途退学の主な理由) 心身耗弱、目標喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 複数の教員でサポートをする担当教員制をとり、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談(または保護者面談)の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務関係	歯科助手専門課程	歯科アシスタント科					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	31 単位時間/単位	11 単位時間 単位	13 単位時間 単位	2 単位時間 単位	0 単位時間 単位	9 0単位時間 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	35単位	
40人	9人	0人	2人	6人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 歯科助手、歯科医療事務の知識・技術を活かし、お客様、患者様の対応ができる。歯科医院において即戦力となる。
学修支援等
（概要） 複数の教員でのサポートをする担当教員制を取っている。心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0 %)	6人 (66.7 %)	3人 (33.3 %)

(主な就職、業界等) 歯科医院
(就職指導内容) 面接練習、履歴書等添削指導
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科助手検定、歯科医療事務検定、普通救命講習
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>複数の教員でサポートをする担当教員制をとり、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、三者面談(または保護者面談)の実施など連携体制を整えている。担当教員での解決が難しい場合には、その他の教員や役職者に相談の上、面談を実施している。</p> <p>また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	100,000 円	740,000 円	260,000 円	教材費その他として 15～17 万円を別途徴収する。
医療事務科	100,000 円	740,000 円	180,000 円	教材費その他として 7～8 万円を別途徴収する。
医療秘書科	100,000 円	740,000 円	180,000 円	教材費その他として 4～8 万円を別途徴収する。
医療 AI 科	100,000 円	740,000 円	180,000 円	教材費その他として 4～8 万円を別途徴収する。
医療保育科	100,000 円	700,000 円	180,000 円	教材費その他として 4～9 万円を別途徴収する。
診療情報管理士科	100,000 円	740,000 円	180,000 円	教材費その他として 4～7 万円を別途徴収する。
くすりアドバイザー科	100,000 円	740,000 円	180,000 円	教材費その他として 4～7 万円を別途徴収する。
歯科アシスタント科	100,000 円	740,000 円	180,000 円	教材費その他として 12～13 万円を別途徴収する。
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/tokyo-med.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。</p> <p>学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
総合病院 経営企画課長	2020 年 4 月 1 日より 2021 年 3 月 31 日まで	企業
総合病院 事務長 医療関連研究会 理事	2020 年 4 月 1 日より 2021 年 3 月 31 日まで	企業

病院 医事課シニアマネージャー	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	企業
総合病院 人事課兼総務課課長	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	企業
日本医療事務協会	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	業界団体
社会福祉法人 理事	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	関連企業
大学 社会福祉学科 教授	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	企業
通信制高校 キャンパス長	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	学識経験者
在校生保護者	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	保護者
病院	2020年4月1日より 2021年3月31日まで	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/tokyo-med.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/
--